

楽歌正踊謡

第10回 *Sing for Joy, Dance for Joy*

和の舞台大集合

日時：2026年1月25日(日) 10:30 開演 17:30 終演予定

場所：赤坂区民センター 区民ホール

主催：東京都港区邦楽邦舞連盟

Association of Classical Japanese Arts

(一般社団法人 日本伝統文化の会)

共催：公益財団法人 港区スポーツふれあい文化健康財団

後援：文部科学省 / 東京都 / 港区 / 港区教育委員会

文化庁伝統文化親子教室事業「葛師お爭親子の会」「はじめての和楽器ワークショップ」
独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金助成活動」「子どもおこし体験プロジェクト」
花みずきの会「伝統文化体験プログラム」

小野真由美作曲

一 桜爛漫、樂歌踊謡

Aグループ

第一筆

小澤 花緒(小三)
小田島茉采(小三)
木村 麦(小二)
小林 奏穂(小二)
中村 実采(小二)
西本 玲花(小二)
松田陽夏乃(小二)

五十嵐友理佳(小一)
小澤 旺実(小一)
杉本 紫草(小一)
高倉茉梨奈(小一)
高橋 空誠(小一)
柴田 おと(六歳)
中澤ほのか(六歳)

第二筆

野口 和楓(六歳)
山口 明莉(六歳)
鈴木日向乃(五歳)
高倉結友奈(五歳)
堀部 真希(小五)
澤田 千歳(小五)
山口 桜華(小四)
遠藤 一葉(小三)
木戸 琴音(小三)
山口 玲奈(小一)

第三結

堀田 麻子
堀江かずみ
山口 彩愛(小六)
堀田 紬生(小二)
安里林之助(小一)
小此木明子

Bグループ

第一筆

瀬並 雪乃
高橋美桜莉(小五)
鹿山 佳瑤(小四)
田島 肇真(小四)
鈴木 康平(小二)
並河 真奈(小二)

波戸 陽香(小二)
山口 明莉(小二)
河村 初華(小二)
宮崎 琴子(小二)
森尾 太智(小一)
山本 あん(小一)

第二筆

木村 愛子
山本さくら(小六)
池嶋ゆうな(小四)
木村 倫子(小四)
近藤 藍(小四)

蘇 裕雯(小四)
並河 里奈(小四)
山口 葵衣(小四)
八幡さくら(小三)
森尾 美月(小三)

第三結

宇氏正太郎
梅村 美紀
宇氏 智花(小六)
鈴木 瑠莉(小四)
河村 海廣(小三)

Cグループ

第一筆

池上アツ子
西野間美智子
池上 瑚春
川浪 花怜(小四)
中澤かえで(小四)
草彌 千景(小二)
幡中 結衣(小二)
辻 結衣(小一)

第二筆

粕谷 由樹
草彌 美絵
佐藤 奉子
佐藤 風花(中一)
榎並由理亜(小六)
片上 玲穂(小五)

川浪 星奈(小五)
櫻井 真緒(小五)
須藤 理名(小五)
粕谷 成(小四)
粕谷 堇(小三)
佐藤 新(小三)

第一三絃

森山 真理

地唄舞

須貝 道子
石川 彩乃

助演

地唄舞

第一筆

第二筆

第一三絃

第二三絃

十七絃

囃子

花崎 しの

陶山 琳

二階堂 葉子

市田 直美

青木 八千代

藤枝 加奈子

加藤 俊彦

二

地唄 筆曲 美緒 野会

ゆかいなまきば

箏

井本 美宇(四歳)

いちろうさんのまきばで イーアイイーアイオー
あらチッチッチッ ほらチッチッチッ あつちも
いちろうさんのまきばで イーアイイーアイオー
ほらないてるのはひよこ イーアイイーアイオー

三

ちゅうりつぷ
地唄 筆曲 美緒野会

筆
小野 貴子（六歳）

さいたさいた　ちゅうりつぷのはなが　ならんだならんだ　あかしろきいろ
どのはなみても　きれいだな

四

さくら
地唄 筆曲 美緒野会

筆
板垣 碧真（六歳）

さくらさくら　野山も里もみわたす限り　霞か雲か白いぞいずる　さくらさくら　花盛り

五

狐のお嫁さん
地唄 筆曲 美緒野会

一筆
久保山 彩蘭（小一）
二筆
長澤 彩

あらあら　バラバラ雨の音　日和はよいに照つてゐるに　どうして　バラバラ日照雨
ホントニホントカホントニホントカ
コンコン小山の真昼間　明るく見えたり隠れたり　提灯　ブラブラ小松原
ホントニホントカホントニホントカ
コンコン小山の子狐が　大きくなつてお嫁入り　それで　バラバラ日照雨
ホントニホントカホントニホントカ
バラバラ雨のやまぬ間に　早く出てみよお嫁さん　綺麗な狐のお嫁さん
ホントニホントカホントニホントカ

六

水滴
地唄 筆曲 美緒野会

筆
天野 有彩（小三）

ポタリポタリ　水の音がしている　人が聴いていてもいないでも　ポタリポタリ　水の音がしている

七

イツツアスモールワールド

地唄 箏曲 美緒野会

箏

井本 美晴 (小二)

世界中どこだって 笑いあり 涙あり みんなそれぞれ助けあう 小さな世界
世界はせまい 世界はおなじ 世界はまるい ただひとつ
世界中だれだって ほほえめば 仲良しさ みんな輪になり 手をつなこう 小さな世界
世界はせまい 世界はおなじ 世界はまるい ただひとつ

八

ロバサン

地唄 箏曲 美緒野会

箏

小谷 莉子 (小二)

ロバサン ロバサン とことつと おみみびよこびよこ とことつと
カララン カララン くびのすず おみみびよこびよこ とことつと

九

夜の大工さん

地唄 箏曲 美緒野会

箏

横路 環 (小二)

夜の大工さん 何建てる 雨が降ってる 暗闇で せわしやトントントン
丸い小さな 金銀時絵の 綺麗な槌だろ トントントン トントン 槌音トントントン

一〇

世界にひとつだけの花 (佐藤義久編曲)

生田流 地唄 箏曲 礼景会

一 箏

山口 桜華 (小四)

二 箏

野口 敏翠

十七 絃

堀 浩美

二

汽車ごっこ

地唄 箏曲 美緒野会

箏

クルティシェフ アルトゥール 守栄 (小五)

二

砵

地唄 箏曲 美緒野会

一 箏

蛭田菜七子 (小四)

二 箏

小野真由美

一三

風にきけ Part II (吉崎克彦作曲)

生田流地鼓 箏曲 乱茶會

箏

山口 彩愛 (小六)

一四

君をのせて

地唄 箏曲 美緒野会

一 箏

井本 美晴 (小一)

二 箏

井本 絢香

井本 美宇 (四歳)

井本 潤一

あの地平線輝くのは どこかに君をかくしているから
たぐさんの灯が なつかしいのは あのどれかひとつに君がいるから
さあでかけよう ひとときのパン ナイフ、ランプ かばんにつめこんで
父さんが残した 熱い想い 母さんがくれた あのまなざし

一五

上無
地唄 華曲 美緒野会

箏
陶山 琳(高三)

一六

カントリーロード
地唄 華曲 美緒野会

一箏

久保山彩蘭(小二)
蛭田菜七子(小四)
中澤かえで(小四)

井本 美晴(小一)
天野 有彩(小三)
横路 環(小二)

二箏

藤枝加奈子
平林 圭子
上田 紀子
山内 有紀

一七

京の四季
花柳流 たけいろ会
日本舞踊／長唄

立方

花柳文牡丹
松田摩里子

柏原 零(小二)
西本 玲花(小一)

柏原 美奈
中村 実采(小一)

松田陽夏乃(小一)
中村和花奈

吉村珠尾 上方舞教室

一八

鶴の声

立方

加賀加代子

渡辺 規歌

篠塚 美風

一九

黒髪

地唄華曲美緒野会 サンタバーバラ教室
アメリカ・カリフォルニア州からライブ中継

箏

品川 恭子
谷本 弘子

三絃

山本 啓子
ロバート渡邊八千代

黒髪のもすばれたる思ひをば とけて寝た夜の枕こそ ひとり寝る夜は仇枕
袖はかたしく つまぢやとゆふて 愚痴なをなごの 心は知らず しんと更けたる鐘の声
昨夜の夢の今朝さめて ゆかしなつかしやるせなや 積ると知らで 積る白雪

二〇

舞囃子／草紙洗

真花の会

シテ

小澤 靖

大鼓

関谷 秀一

地

小澤はつみ

中尾 敦子

小鼓

紀井 規子

崎野ゆき子

阿部 美穂

笛

平山 満紀

田中 明美

土屋 邦子

二一

松づくし

地唄華曲美緒野会

三絃

小野真由美

山内 有紀

箏

中井 一陽

久保山彩蘭

藤枝加奈子

池田千絵子

磯部 葉月

西川 陽子

平林 圭子

榮 あゆみ

松本 京子

丸岡千恵美

上田 紀子

柳田 瑠理

長澤 彩

福田佳乃子

北島 亜季

井本 潤一

さてもめでたき常盤木の 一本目には池の松 二本目には庭の松 三本目には下り松
四本目には志賀の松 五本目には五葉の松 六つ昔は高砂の 尾上の松や曾根の松
七本目には姫小松 八本目には浜の松 九つ小松を植え並べ 十で豊久野伊勢の松
この松は有情の松にて なさけ有馬の松が枝や 口説けばなびく相生の松
またいついつの約束を 日を待つ時待つ暮れを待つ 連理の松に契りをこめて 福大黒を見さいな

二二

小唄田村会

心して／正夢

唄

赤枝恒雄 事

田村てる恒壽

糸

田村 てる

上調子

田村てる梶

心して 我から捨てし恋なれど せきくる涙 堪えかね 憂さを忘るる盃の 酒の味さえ ほろ苦く
結城紬に茶献上 きりつとしまつた男振り 四谷で初めて 逢うた時 一目惚れした この私
今じゃ嬉しい新世帯 夢は初夢 覚めちや嫌

二三

地唄華曲美緒野会

門出の祝

第二三絃

小野真由美

榮 あゆみ

第三絃

中井 一陽

高松 玲子

第一筆

磯部 葉月

松本 京子

池田千絵子

白髭 怜奈(小三)

丸岡千恵美

井本 潤一

井本 絢香

福田佳乃子

梶田 瑠理

第二筆

藤枝加奈子

平林 圭子

上田 紀子

北島 亜季

山内 有紀

川合さくら

二四

郡山流尺八両山会

本曲 八千代

尺八 1

松井 邦櫻

竹馬千恵子

尺八 2

片岡 雨山

杉本 直樹

地唄箏曲美緒野会

二五 寿襲八千代獅子

第二三絃

第三絃

箏

小野真由美

篠原 昌人

藤枝加奈子

上田 紀子

高橋 富博

中井 一陽

青木八千代

日高 和美

岩本 修平

磯部 葉月

榊田 瑠理

榊原 誠恵

高松 玲子

市田 直美

川合さくら

富永 愛侑

渡邊 和恵

いつまでも かはらぬ御代に あひ竹の世々は幾千代 八千代降る
雪ぞかかれる 松のふた葉に 雪ぞかかれる 松のふた葉に

生田流地歌箏曲礼楽會

二六 未来花（水野利彦作曲）

I 箏

野口 敏翠

片貝 千穂

II 箏
小此木敏翠蝶

十七絃
堀 浩美

山口 桜華（小四）

小保方 梢

伊藤 礼子

浅岡 陽子

飯塚 初江

山口 彩愛（小六）

五十嵐孝子

田部井弘子

渡辺 怜良（中三）

片貝ますみ

地唄箏曲美緒野会

二七 エト。ピリ力

I 箏

山内 有紀

二階堂葉子

榮 あゆみ

市田 直美

石山 彩奈

II 箏

藤枝加奈子

上田 紀子

平林 圭子

榊原 誠恵

二八

萩の露

生田流地歌筆曲乳琴會

箏

岡崎 敏優

三弦

野口 敏翠

渡辺 怜良(中三)

石松志津枝
中島 玲子

いつしかも 招く尾花に袖触れそめて 我から濡れし露の萩
いどど思いを重ねよと 月にや声は冴えぬらん
いざさらば 恋しき方に玉章を 送る便の有りや無しやと

二九

証城寺のスケルツオ (江戸信吾作曲)

優奏会

箏 I

岡崎 敏優

箏 II

岡本麻友美

三橋敏優希

鈴木かなで

十七絃

新井 絹代

櫻井 愛実

尺八

片岡 雨山

三〇

出口の柳

地唄筆曲美緒野会

三絃本手

小野真由美

中井 一陽

磯部 葉月

外川麻貴子

池田千絵子

三絃替手

藤枝加奈子

平林 圭子

上田 紀子

北島 亜季

山内 有紀

奉るヨ 奈良の 都の八重桜サアエ 今日九重に浮かれ来て 二度の勤めは島原の
ヨオヨオヨオイサアヨ 忍び寝に泣く愛き泪 顔が見たさに又此処へ 木辻の里の朝ごみに
菜種やけしの花の色 移りにけりな徒らに 我が身はこれのうこの姿 つれなき命承らへて
また此頃や惚ばれん 忍ぶに辛き目塞笠 深き思ひぞせつなけれ

三一

生田流地歌筆曲乳筆會

風三章（吉崎克彦作曲）

箏

岡崎 敏優

三弦

野口 敏翠

渡辺 怜良（中三）

石松志津枝

中島 玲子

堀 浩美

浅岡 一夫

三二

百賤会

尺八古典本曲「薩慈」

尺八

グロマー小百合

飛田 英利

佐藤 晃

善養寺恵介

上條 紀雄

福田 大輔

堀口 善懂

岩下 誠

三三

地唄筆曲美緒野会

さらし風手事

箏高音

野口 敏翠

藤枝加奈子

上田 紀子

山内 有紀

青木八千代

加藤 祥子

箏低音

小野真由美

平林 圭子

北島 亜季

山根 麻紀

二階堂葉子

三四

狐の嫁入り

地唄 華曲 美緒野会

立方

横浜 富久丸

三絃

中井 一陽
菊央 雄司

箏

小野 真由美

箏

加藤 俊彦

三五

名護屋帯

地唄 舞 花崎流

立方

花崎 玉女

唄・三弦

菊央 雄司

世の中に冠婚葬祭の四つの礼儀あり 其が中に大礼と言ふものは婚儀なり 畜生道にありながら
狐は人の学びを成し ます結納を取り交わし 方角日柄を選びたり 中段下段吟味して 山の滅日や三隣亡
豹尾は格別大禁物 いよいよ日柄を取りきわめ そのその日の行列は 先箱 台傘 狸々緋
六尺そろえの折鶴紋 先提灯に後提灯 ぶらりぶらぶら 長き尾のひきもちぎらずうち続く
嫁御は駕籠のうら若き かづき帽子や 白装束 同じ尻尾の長々と 長道中の半ばより
晴れたる日よりの村時雨 降るかと思へば照りわたり 照るかと思へばバラバラバラ
げにもお狐の嫁入り日和 程なく祠へ着きにけり いはねどしるきコンコンの あな目出たしと祝うらむ

逢ふて立つ名が 立つ名のうちか 逢わで焦がれて 立つ名こそ 実立つ名の うちなれや
想ふ仲にも隔ての 襖 あるに甲斐なき 捨て小舟 思ふや世界の 男の心 わしは白波 現なき
よるの寢覚めの その睦言を 想い出すほど 愛しさを ぞと身も世も あらうものか
しめて名護屋の 二重帯 三重廻る 深山 鶯 鳴く音も細る 我は君ゆえ 焦がれて細る
ああ浮世を昔 忍ぶの恋ごろも

三六

縁綴り

修ノ降

「飛翔ノ記」徳川家康伝

積田 裕和
西田 雄紀
鍛次郎

今井 涼雅
石黒 笙陽
杉原小太郎

鳴海 貴絵
万 姫
大村 菜友

杉山 菜穂
小野 伯月
池本 桃乃

三七 雪

立方

吉村 珠尾

三絃

小野真由美

胡弓

菊央 雄司

花も雪も払えば清き袂かな ほんに昔の事よ 我待つ人も吾を待ちけん 鴛鴦の雄鳥に物思ひ
羽の凍る衾に鳴く音は嚙ぞな さなきだに 心も遠き夜半の鐘 聞くも淋しき独り寝の
枕に響く霰の音も 若しやいつそ堰きかねて 落つる涙のつらより 辛き生命は惜しからねども
恋しき人は罪深く 思はんことの悲しさに 捨てた憂き 捨てた浮世の山かつ

三八 御所のお庭

立方

花崎杜季女

三絃

小野真由美

御所のお庭に 右近の橘 左近の笹々 ふくふく らんらんらん 右大臣 左大臣
サササ 緋の袴はいたる 官女官女たちたち
雪はちらちら 子供は喜ぶ 大人はかじける 犬奴は飛び上がる 雪をこかして
サササ 箒で掃くやら 屋根の雪や さおでかく
下の通りの 羅生門には 茨木童子という鬼住むかな 渡辺の綱の兜を
サササ 掴んで舞い上がる 太刀引き抜いて腕斬る

三九

獅子舞

里神樂加藤俊彦社中

獅子

千々和創太

千々和愛花音

笛

千々和典子

田所 求美

四〇

春の賦

箏独奏

小野真由美

第一筆

第二筆

三絃

尺八

平林 圭子

青木八千代

野口 敏翠

善養寺恵介

石山 彩奈

渡辺 怜良

池田千絵子

片岡 雨山

上田 紀子

北島 亜季

中島 玲子

松井 邦櫻

加藤 祥子

磯部 葉月

石松志津枝

望月 淳

榮 あゆみ

外川麻貴子

高松 玲子

フルート

五十嵐孝子

山内 有紀

十七絃

千々和典子

片貝 千穂

伊藤 礼子

岡崎 敏優

加藤 俊彦

片貝ますみ

小此木敏翠蝶

藤枝加奈子

中井 一陽

飯塚 初江

小此木敏翠蝶

藤枝加奈子

中井 一陽

春 春 春は酣希望の色と 緑濃き 大野に 野路に

こがね輝かせ 紫染めて 床しくも 花咲きほこり

春 春 春は酣舞うや 胡蝶 春日を浴びて

歡喜 微笑 大地に満たすと 天降り来て 彩翅ひるがえす 天馳使か

啼くや 空には 雲雀の歌声 歡楽 幸福 御空に満たすと

たか音に 競いてはかなざる 天津乙女か

野末に 豊かに たなびく 八重霞里には 里の春を こむると

村には 村の春を こむると 霞の奥には のびやかに

鶏の声 声をかがりに 稚児の声 声のかぎりに

春 春 春は酣春酣なる 野中に 只一すじ直き路

霞の奥に 紅の花 まさかりの 円き丘に 登りゆく

直き直き 只一すじ 直き路 直き路 忽ち起こる 劫風か

天くらく 地もふるい 目もくらむ 大花吹雪

眼盲いたる 夢心地にかつ 酔えど かつ悩めど 只一すじに

丘を越ゆれば 彼方にぞ 常春の邦土、常春の宮殿、

ただようは 現世にして 何の楽の香芳醇 つくるなく

高なるは 現世にして 何の楽の音劉曉 きわみなし

常春の邦土に、みちたる力 常春の宮殿に、みちたる生命

春 春 春は酣春は酣

《出 演》

生田流地歌箏曲紅葉會

縁綴り修ノ陣

里神楽加藤俊彦社中

真花の会

地唄箏曲美緒野会

地唄舞花崎流

花柳流たけひろ会

百賤会

都山流尺八雨山会

優奏会

吉村珠尾上方舞教室

進行

舞台

調絃

アナウンス

映像

題字

渡辺 清弘

株式会社六工房

井関 一博

水澤 泰助

石黒 笙陽

平澤 織絵

田中 圭

岩本 修平

香坂應祐貴

阿部 鳳竹

《楽歌踊謡実行委員会》

上田 紀子

藤枝加奈子

中井 一陽

平林 圭子

篠原 昌人

吉川 尚子

高田 幸子

山内 有紀

北島 亜季

青木八千代

磯部 葉月

金田和歌奈

本日はご来場誠に有難うございました。

下記QRコードよりアンケートにご協力いただきたくどうぞ宜しくお願い申し上げます。

